

施 策：	05	農林業の振興	財務コード	01050104-05-00
基本事業：	04	消費者が求める農産物の供給	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標		農産物直販所における販売高 学校給食へ納入された食材の額	担当課	農政課
			担当係	農政担当



計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
稻作農家	<p>筑紫農協が実施する良質米種子更新事業に補助金を交付する。</p> <p><事業内容> 筑紫農協から良質米種子を購入する農家へ費用の一部を助成する。</p> <p><補助金交付の流れ> 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	稻作農家が良質米種子を確保でき、上位等級の良質米の生産が図られている。							
4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
種子更新農家戸数	戸	447	441	550	445			550
種子更新量	kg	13,396	13,231	16,000	13,500			16,000
5. コスト								
事業費	計	千円	1,500	1,500	1,500	1,500		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	1,500	1,500	1,500	1,500		
正職員人工数	人工	0.01	0.01	0.01	0.01			
正職員人件費	千円	81	80	79				
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	1,581	1,580	1,579	1,500			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	<状況>種子更新農家、種子更新量とも減少している。							
どちらかといえばあがっている	<原因>高齢化による農家数減少及び需給調整の作付目標面積が減少しているため。							
あがっていない (停滞・低下)	<課題>稻作振興の手段として、種子更新費の一部助成しているものであり、継続することが必要である。 なお、補助金額（定額）については、必要に応じ見直しを検討する。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	減少	類似事業	なし					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
補助を継続する場合は、補助対象経費を明確にするため、補助金交付要綱等の整備が必要。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄							
種子更新することにより、良質米を生産することができ、農家の所得安定を確保することができる。								